労働社会学会関西部会特別ワークショップ
アメリカ労働運動の実践に学ぶ　講師評会

1. レイバー・ノーツ大会

　アメリカでは労働組合の組織率が 10.7 パーセントとなり、存在そのものが問われる危機的状況となっている。その中で生き残りをかけて様々な新しい試み、営為が積み重ねられてきている。その中で「労働運動に運動を取り戻す」ことをスローガンに掲げ、様々な新しい運動の先頭に立っている人たちを横につなぐネットワークとしてのレイバー・ノーツの存在は重要である。さらに世代とジェンダーのギャップをなくすことに成功している点については日本の運動は学ぶ点は多い。

　日本の多くの労働運動活動家の皆さんに直接、レイバー・ノーツの活動家と触れ合い、その参加型教育手法を体験して頂くために、この１１月に二人の女性講師を招聘する。レイバー・ノーツが全米各地で開催しているトラブルメーカー・スクールと呼ばれる参加型講座を東京と京都で開催するのが直接の目的である。その他にも２週間の滞在中に各地で日本の様々労働組合、労働団体との交流と学び会いの機会を作りたい。

2. 講師紹介

◇ジェーン・スローター　Jane Slaughter
GM の自動車工場で働き、全米自動車労組 UAW 組合員として活動。その後 1979 年にはレイバー・ノーツの共同創設者の一人となり、初代編集長。多くの本を書き、現在も政策委員として Labor Notes に関わり、講師として労働者教育に携わっている。
【著書】
Concessions and How To Beat Them
Choosing Sides: Unions and the Team Concept（マイク・パーカーとの共著）「米国自動車工場の変貌」緑風出版１９９５年
Working Smart: A Union Guide to Participation Programs and Reengineering（マイク・パーカーとの共著）；
A Troublemaker's Handbook 2;
Secrets of a Successful Organizer.

◇レア・フリード Leah Fried
様々な職場で働いた後、AFL-CIO に加盟していない独立労組機ラジオ機械工労組 UE のオルグとして 19 年間活動。２０全米電には国際戦略部長を務め、２０１６年にレイバー・ノーツ１５年ッフとなる。現在は副理事長。UE オルグとしてリパブリッのスタィンドーズの解雇争議を担当。工場を占拠した後に労働者ク・ウ労働者協同組合として再建したことで有名。マイケル・ムによる映画『キャピタリズム』にも登場した。ーアの